

「卒業式に関する新聞記事」のご紹介

校長 中村 成希

令和4年10月9日に「琉球新報（沖縄の新聞）」で、当校の卒業式に関する記事が載っていましたのでご紹介します。【琉球新報社提供：令和4年10月9日朝刊記事】

卒業生代表あいさつをする釜付野花さん＝9月25日、本部町の八洲学園大学国際高校



支えに感謝 47人巣立つ 本部・八洲学園高で卒業式

【本部】本部町にある広域通信制の八洲学園大学国際高校（中村成希校長）で9月25日、前期卒業式が開かれ、47人が卒業した。他の高校からの転入などさまざまな経歴を持った卒業生が家族や教員、在校生らに囲まれ、門出を祝った。

県内在住の釜付野花さん（18）は私立全日制高校からの転校組。小中学校時代から学校が苦手で、前の高校でも本当の自分を出せず悩んでいたが、ここでの先生と仲間が自分を受け入れてくれたという。卒業生代表あいさつで「先生が私の不安な心の内を親身に聴いてくれた。学校は合わないと感じていたが、ここは家族の次に安心できる居場所だった。自分の弱いところさえも認めてくれた」と述べ、笑顔を見せた。

卒業生の最高齢は52歳だった。30代で編入学し、育児と学習を両立させた卒業生もいた。中村校長は「高校生活で培った力を存分に発揮すれば試練に打ち勝つことができる。夢と希望に向かっていってほしい」と式辞を述べた。

卒業式ではロック歌手の城間健市さんが「天と海の境」などを歌い、卒業生にエールを送った。（増田健太）